

2023 年度
能力強化研修

ライフコース・アプローチによる栄養課題
解決に向けた人材育成

2024年3月6日（水）～3月8日（金）、
3月11日（月）、3月12日（火）

募集要項



※当研修はオンラインで実施します。

独立行政法人 国際協力機構
人事部開発協力人材室

はじめに

2000 年以降、世界は、発育阻害の 5 歳未満児の割合を 3 分の 1 に、数にすると 5500 万人を減らすことができました。このことは、栄養改善が可能であることと、世界全体で取り組むことの意義を示していますが、アフリカ・南アジアなどではいまだ低栄養が主要課題です。一方で、低中所得国を含む世界各国で、特に子どもの過栄養が増加しています。発育阻害、消耗症や微量栄養素欠乏症などの低栄養、および過体重・肥満、食事由来の生活習慣病の課題は、いずれも人間の生命、発育・発達、あらゆる健康に大きな影響を及ぼします。

近年では、人生最初の 1000 日間の母子栄養を最重要としつつ、学童期、青年期の栄養にも焦点を当てたライフコース・アプローチに基づき、栄養不良の世代間連鎖を断ち切るとともに、将来の生活習慣病を予防することがこれまで以上に求められています。低栄養だけでなく過体重・肥満、生活習慣病予防のために、各ライフステージに応じて栄養価が高く、安全で、手ごろな価格で、持続可能で健康的な食事と、それを可能にする環境づくり、そしてユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)に依拠した栄養サービス提供が必要となります。そのためにはマルチセクター間で、多様なステークホルダーとともに取り組むことが重要です。

2009 年に発足した栄養問題解決のための国際的フレームワークである Scaling Up Nutrition(SUN)は、栄養課題を抱える加盟国だけでなく、ドナー、民間企業、市民社会が連携したマルチステークホルダーで、かつ保健・農業・水・教育等マルチセクターで栄養問題に取り組むことを推進しています。2013 年には国際栄養目標が提案されたことで目指すべき指標が明確化し、2015 年に SDGs の目標 2 に「2030 年までにあらゆる形態の栄養不良を終わらせる」と明言されることとなりました。2016-2025 年は「国連栄養のための行動の 10 年」と宣言され、中間点となる 2021 年に日本政府主催で東京栄養サミットが開催されました。初めて、低栄養だけでなく過栄養について議論された栄養サミットとなりました。次回は、2024 年のパリオリンピックに合わせてフランスで開催が予定されています。

JICA では、JICA グローバルアジェンダ(課題別事業戦略)として 20 の重点課題が設定されており、「栄養の改善」もその一つとして位置づけられています。今後は、現在作成中の JICA グローバルアジェンダ『栄養の改善』における「ライフコースを通じた栄養改善クラスター戦略(仮)」に基づいて、ライフコース・アプローチによる栄養課題への対応を強化します。また 2021 年の東京栄養サミットでは、栄養協力の基本的考え・取組方針を示した「JICA 栄養宣言：栄養をすべての人々へー人間の安全保障のための 10 箇条の約束ー」を発表しました。これらの方針に基づき、母子栄養、プライマリ・ヘルス・ケア、学校給食などの技術協力プロジェクトをはじめ、アフリカでは「食と栄養のアフリカイニシアティブ(IFNA)」の推進、水・衛生・教育等とセ

クター横断的な事業の実施や、国別研修、課題別研修で日本の栄養改善、生活習慣病予防の経験を学んでいただくことにも力を入れています。また、海外協力隊として人々の栄養改善に貢献できる人材を、様々な職種で派遣しています。このように、栄養改善の視点を入れた案件形成及び実施が以前にも増して期待されており、それを担える人材育成が急務となっています。

本研修は、保健・農業・農村開発・水・衛生・教育等の各分野での実務経験をもった方々を対象に、国際的な栄養に関する議論の潮流と、低中所得国における栄養不良の傾向及びその対策について理解を深められるよう構成しています。また、今後同分野あるいはセクター横断的な協力事業において、栄養改善の視点を入れた協力内容の策定及び実施に必要となる知識の習得を目的として実施します。

本研修は、上記講義に加えて、グループに分かれて担当国の栄養状況の分析を行い、研修期間を通じてライフコース・アプローチ、およびマルチセクトラルアプローチを重視した栄養案件形成のグループワークを行うなど、実践的な内容となっています。参加者の皆様が、それぞれの知見を持ち寄って、本研修を通じて活発な意見交換を行っていただけるよう、開発コンサルタント等国际協力関係団体の方のみならず、食・栄養分野での低中所得国等への事業展開を検討されている民間企業関係者の方々のご参加も歓迎いたします。

1. 研修コース名、研修期間、募集人数

- (1) 研修コース名: ライフコース・アプローチによる栄養課題解決に向けた人材育成
- (2) 期間: 2024年3月6日(水)~3月8日(金)、3月11日(月)、3月12日(火) (5日間)
- (3) 募集人数: 20名程度(一般公募による参加者とは別に、JICA 内部からも若干名、研修参加者を募集する予定)
(以前の能力強化研修に参加した方もご応募いただけますが、新規応募者のご参加を優先します。ご了承ください。)

2. 応募要件

下記の全ての要件を満たす方とします。

- (1) 将来、保健セクターをはじめとして、農業・農村開発・水・衛生・教育等のセクターあるいはセクター横断的な支援事業において、栄養改善の視点を入れた JICA 事業(民間連携事業を含む)の案件形成及び実施に携わる可能性・意志があること。
- (2) 研修の全日程に参加可能であること(修了証発行は全日程参加が条件となります)。
- (3) 専門能力・経験として、保健・農業・農村開発・水・衛生・教育等の分野での実務経験を5年程度以上有すること(開発コンサルタント等国際協力関係団体のみならず、医療機関、民間企業、自治体、研究機関等含む。途上国での実務経験があると望ましい)。
- (4) 語学力として、基本的にコースは日本語で行われるが、原則として、以下の語学力を有すること(一部の演習は英語で実施)。
英検準1級、TOEIC730点、TOEFL CBT213点/iBT79点、国連英検B級以上
※ 専門家語学ガイドラインAレベル(高いコミュニケーション能力が求められる案件の専門家に求められる語学力)基準
※ 保持している語学力に係る公的資格を、履歴書に必ず記載すること(取得年月が新しいものを優先。取得年月も記載すること)

3. 研修会場

本研修はオンラインの形式(Zoom 使用予定)で開催します。

4. 研修概要

(1) 目的

- ① 国際的な栄養改善の潮流、栄養不良の概念的枠組み、低中所得国における栄養不良の傾向及びその対策を理解する。
- ② 保健・農業・農村開発・水・衛生・教育等のセクター、あるいはセクター横断的な協力事業において、栄養対策の視点を入れた協力案の策定・実施に必要な知識を習得する。

(2) 研修カリキュラムの基本枠組み

本研修は、JICA グローバルアジェンダ『栄養の改善』、「ライフコースを通じた栄養改善クラスター戦略(仮)」の枠組みに沿って実施します。

(3) 日程(案)

日	時間	内容
3月6日 (水)	09:30-10:30	開講挨拶、自己紹介、オリエンテーション、クラスター戦略に沿った研修の進め方
	10:30-11:00	JICA の栄養改善の取組み
	11:10-12:00	ライフコースの栄養概論①
	13:10-14:00	ライフコースの栄養概論②
	14:00-15:30	グループワーク①
	15:30-15:45	事務連絡／振り返り／質疑
3月7日 (木)	09:20-09:30	振り返り、連絡事項
	09:30-10:30	保健システムにおける栄養サービス強化①低栄養
	10:50-11:50	保健システムにおける栄養サービス強化②過栄養
	13:00-14:00	栄養分野におけるマルチセクター連携
	14:00-15:30	グループワーク②
	15:30-15:45	事務連絡／振り返り／質疑
3月8日 (金)	09:20-09:30	振り返り、連絡事項
	09:30-10:15	フードシステム(農業)から働きかけるアプローチ
	10:15-11:00	フードシステム(漁業)から働きかけるアプローチ
	11:10-11:50	水・衛生システムから働きかけるアプローチ
	13:00-13:45	教育システムから働きかけるアプローチ
	13:45-16:00	グループワーク③
	16:00-18:00	グループワーク④ 対象国現地実務担当者からのインタビュー
3月11日 (月)	09:20-09:30	振り返り、連絡事項
	09:30-10:30	給食システムと食育
	10:50-11:50	食環境づくりとマルチパートナー連携
	13:00-13:30	デジタル・イノベーションと栄養
	13:30-16:00	グループワーク⑤
	16:00-16:15	事務連絡／振り返り／質疑
3月12日 (火)	09:20-09:30	振り返り、連絡事項
	09:30-12:00	グループワーク⑥
	13:00-16:00	各グループの結果発表、ディスカッション
	16:10-16:30	修了式

※本日程は、暫定版のため変更の可能性があります。

※演習の状況によっては各日 17 時頃まで延長することがあります。

(4) 講師紹介

野村 真利香 Ph.D MBA JICA 人間開発部国際協力専門員

博士(医学)取得後、順天堂大学医学部公衆衛生学教室助教、JICA イエメン栄養技プロ長期専門家、ハーバード公衆衛生大学院武見国際保健プログラム研究員、国立保健医療科学院主任研究官を経て現職。専門は栄養政策、公衆衛生。栄養協力におけるマルチセクター／マルチパートナーシップの実践と枠組み構築を目指す。

5. 応募方法

以下の(2)に記載されている提出書類を揃え、締切日までに JICA が運営している国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」(以下、「PARTNER」という。)から応募してください。応募書類の受付後、応募時に「PARTNER」で指定した本人連絡用 E メールアドレスに対し、受領通知メールと共に応募案件番号(受付番号)を通知します。応募後、3 営業日以内に受領通知が届かない場合は、7 ページ「国際協力人材登録に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

(1) 「PARTNER」への登録

応募はすべて「PARTNER」経由で行います。応募にあたっては「PARTNER」に国際協力人材登録(簡易登録不可)がなされていることが必須ですので、登録されていない方はまず「PARTNER」での国際協力人材登録を行ってください。

「PARTNER」の URL <https://partner.jica.go.jp/>

【PARTNER 登録の注意事項】

- 新規登録手続きには、3営業日程度を要しますので、お早めに登録ください。
- 同じく入力フォーム 4 ページ目「プロフィールの公開」欄で「希望する」を選択し、公開先には必ず「JICA」を選択してください。

(2) 応募書類

すべて所定の様式をご使用ください。所定の様式は、JICA ホームページ (<https://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html>) からダウンロードしてください。

①の履歴書についてのみ、PARTNER から書式をダウンロードして作成してください。

① 履歴書

応募に必要な「研修用履歴書」を「PARTNER」上で作成して提出してください(履歴書への写真添付は不要です)。一般履歴書など他の様式の履歴書は受け付けません。履歴書は、「PARTNER」ログイン後、マイページのメニューから作成できます。ファイル名は「氏名_1履歴書」としてください。

② 推薦書

所属先のある方は必ず所属先の研修参加の了承を得てください(推薦書の内容について、所属先に問い合わせ、確認する場合があります)。なお、推薦書は書式不問です。推薦書が用意できない場合は、その理由を記載してください。自営の方や所属先のない方は不要です。所属先にて応募者ご本人が代表を勤めている方も必要ありません。ファイル名は「氏名_2推薦書」としてください。

③ 自己申告書

必ず所定の様式を使用して提出してください。なお、障害などの合理的な配慮が必要な方は自己申告書の該当項目(6 項目目)に必ず記載をお願いいたします。ファイル名は「氏名_3自己申告書」としてください。

(3) 応募

応募期間内に「PARTNER」の応募画面から応募してください(予め応募書類をご準備ください)。

- ① 以下の URL から「PARTNER」にアクセスし、画面右上の“ログイン”をクリックして「PARTNER」にログインします。

「PARTNER」の URL <https://partner.jica.go.jp/>

- ② 「研修セミナー情報」画面から該当のセミナー情報を検索し、「この案件に応募する」をクリックしてください。
③ 上記 (2) の応募書類を添付してください。

【国際協力人材登録に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局

以下 URL、PARTNER ホームページの「お問い合わせ」からお願いします。

<https://jicaps.secure.force.com/inquiryedit>

6. 応募締め切り

締切日: **2024 年 1 月 18 日(木)**

7. 選考結果の発表

応募書類を審査の上、**2024 年 2 月 6 日(火)**を目途に、下記の「PARTNER」のマイページ上で合格者の応募案件番号(受付番号)を発表します。「PARTNER」にログインし、マイページの「PARTNER からのお知らせ」をご確認ください。書面による通知及び JICA ホームページ上では発表しません。

ご自身の応募案件番号(受付番号)は受領通知メール、又はマイページ「メールボックス」の「受信 BOX」で【PARTNER】研修・セミナーへの応募送信完了のお知らせを参

照ください。

なお、選考結果に関する個別のお問い合わせには一切お答え出来ませんので、あらかじめご了承ください。

「PARTNER」の URL <https://partner.jica.go.jp/>

8. 修了証の発給

全日程を修了された受講者へ、研修修了証書をお渡します。

9. 参加費用

無料

10. 留意事項

- (1) 研修期間中の盗難、紛失、事故等については、JICAは一切責任を負いません。予めご了承ください。
- (2) 研修実施に影響を及ぼすため、合格後の辞退は出来るだけご遠慮ください。
- (3) 円滑な研修運営に支障を来す恐れがあり、受講者本人や他の受講者の不利益になると JICA が判断した場合は、その後の研修参加をお断りする場合があります。
- (4) 研修修了一定期間の後、研修後の国際協力事業へのかかわり等に関するフォローアップ調査をアンケート形式で実施しますので、回答にご協力願います。
- (5) 受講のために必要な経費は自己負担となります。
- (6) オンライン受講に必要となるPCや安定したインターネット環境(Wi-Fi 等)等は受講者でご準備ください。
- (7) 所属先推薦書を含む応募書類に虚偽の記載が判明した場合、選考合格を取り消すとともに、修了証の発行は致しません。

以上

様式 1 推薦書(書式不問)

様式 2 自己申告書

—ご提出頂く応募書類の取り扱いについて—

提出書類は、選考の結果にかかわらず返却しませんので、あらかじめご了承ください。

【個人情報の利用目的】

当機構が収集した応募者の個人情報は、以下の目的で利用させていただきます。当機構は、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成に必要な範囲を超えて応募者の個人情報を利用いたしません。

1. 当機構が能力強化研修の受講者の選考を行うため
2. 当機構の研修実施にかかわる、各種情報(セミナー・イベントやホームページの案内等)や、人材募集情報の提供や連絡等を行うため
3. 応募者についての統計、データ分析を行うため
4. 研修の修了後、研修修了者へ能力強化研修の成果の活用状況について照会し、この結果を統計データとしてまとめ、将来的な研修カリキュラム改善に活かすため

【個人情報の取扱いについて】

当機構は収集した個人情報を当機構の責任のもとで適切に管理し、研修の受講に至らなかった場合は、当機構の責任のもとで適切に廃棄致します。この場合、書類の返却は致しておりませんのでご了承ください。

【応募に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 人事部開発協力人材室(研修管理室)
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 市ヶ谷ビル
TEL: 03-3269-3471 E-mail: hrgtc@jica.go.jp